



平成 21 年 5 月 28 日

各 位

会 社 名 旭 テック 株 式 会 社
 代 表 者 名 執 行 役 社 長 入 交 昭 一 郎
 (コード番号 : 5606 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 執 行 役 専 務 松 村 正 隆
 (TEL 0537-36-3103)

特別利益、特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 2 月 13 日に公表しました連結業績予想及び個別業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 21 年 2 月 13 日発表)	218,500	6,700	15,900	280
今回修正予想 (B)	218,800	3,100	12,200	23,300
増減額 (B - A)	300	3,600	3,700	23,020
増減率	0.1%	-	-	-
(ご参考) 前期実績	315,885	3,340	8,602	34,818

2. 個別業績予想数値の修正

平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 21 年 2 月 13 日発表)	40,100	550	30	380
今回修正予想 (B)	40,200	1,760	1,130	31,780
増減額 (B - A)	100	1,210	1,160	31,400
増減率	0.2%	320.0%	-	-
(ご参考) 前期実績	56,609	2,032	1,589	31,393

3. 修正の理由

5 月 27 日 (米国時間) 当社子会社であるメタルダイン社は米国ニューヨーク州南部破産裁判所に対し、米国破産法第 11 章に基づく更生手続きの申請を行いました。これにより、メタルダイン社は本申請時点をもって当社連結および持分法対象から外れ、当社は 3 月末時点をもって関連損失を一括処理致します。具体的

には、単体においてメタルダイン社への出資金を全額償却 320 億円（第 4 四半期）し、連結においてはメタルダイン社の純資産を 1 円とみなした減損損失 315 億円（第 4 四半期）を計上致します。これらはいずれもキャッシュフローへの影響はございません。

なお、当社取締役会において今後メタルダイン社に関連した一切の投資を行わない旨決議しており、メタルダイン社の再建プロセスの中で当社がスポンサーとなるなど財務的な支出を行うことはございません。

上記により、当社はメタルダイン社の損益および純資産の変動に対する影響を受けなくなり、今後、メタルダイン社に関連して連結当期純利益および単体損益に対する影響は発生致しません。

また、本業績修正の結果として、当社が連結もしくは単体で債務超過になることはございません。

業績予想の修正にかかる詳細は以下の通りです。

連結の業績予想については、低操業状態が継続していることにより非原価相当分が操業度差異として営業損失から特別損失に振り替わること、また、販売費及び一般管理費の削減に取り組んだことにより、営業利益および経常利益が前回発表予想を上回る見込みです。

一方、特別利益および特別損失を下記内容にて計上致しますので、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みです。

(単位：億円)

特別利益	前回発表予想	今回修正予想
社債の債務免除益	31	31
退職給付引当金戻入額	15	15
社債の償還差益	311	305
その他	3	9
計	361	360
特別損失		
減損損失(注 1)	92	407
固定資産及びリース資産処分損	15	16
リストラ費用等	72	9
操業度差異(注 2)		26
その他	5	5
計	186	463

(注 1)メタルダイン社の純資産を 1 円とみなすことに相当する減損損失 407 億円（通期、前回予想比 315 億円増加）の計上を見込んでおります。

(注 2)低操業状態が継続していることにより非原価相当分が操業度差異として営業費用から特別損失に振り替わるものです。

連結の業績予想については、前回発表予想の特別損失 186 億円を見込んでいましたが、メタルデザイン社において収益性の低下によりのれん及び固定資産の再評価を行なったことにより追加の減損が発生し今回 463 億円を計上しています。

個別の業績予想については、在庫縮小、設備投資削減、生産性の改善、販売費及び一般管理費の削減等を継続して実施しており、また、低操業状態が継続することにより非原価相当分 7 億 51 百万円が操業度差異として営業費用から特別損失へ振り替わるため、営業利益および経常利益は前回発表予想を上回る業績を見込んでおります。

また、メタルデザイン社の収益性低下に伴う資産再評価の結果を受け、関係会社出資金評価損として 320 億円の特別損失を計上することにより、当期純利益は前回発表を下回る業績を見込んでおります。

以上の理由により、前回発表予想を上記の連結業績予想及び個別業績予想のとおり修正させていただきます。

メタルデザイン社による破産法申請についての詳細は本日付け別紙「米国子会社メタルデザイン社のチャプター11 申請並びにこれに伴う子会社の異動及び特別損失の計上について」をご覧ください。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上